

令和2年度 学校評価の結果について

今年度の東陽中学校の学校評価を、教職員、生徒、保護者、学校関係者（東陽小中学校コミュニティースクール委員の皆さん）の4者にいただいた結果を公開しています。なお、学校関係者の方々には年間を通して評価していただいています。ご協力いただき誠にありがとうございました。なお、アンケート結果についてのお尋ね等ありましたら、東陽中学校（65-2650）までご連絡ください。

<考察及び対策等について>

① 教職員の結果から

○上期と比較して、下期において個別指導や補充学習、授業改善の意識が向上した。

○コロナウイルスの感染症対策や情報発信などについて達成度が向上した

▲コロナ禍の影響として、授業公開や保護者への啓発活動、外部機関との連携、小中連携教育等において評価が下がった。

※今後、オンラインの活用など、コロナ禍でも実施できる授業公開や連携の在り方を考え、取り組んでいきたいと考えています。

② 生徒の結果から

○学習規律や挨拶、規範意識は高い評価であった。

○キャリア教育への満足度、交通安全の意識が高かった。

▲授業中にじっくり考え自分の意見を持つ、授業を楽しく、意欲的に受けている という項目について評価が下がった。

▲清掃やボランティア活動、携帯やスマートフォンの使用、家の手伝い、食生活の改善などについて評価が下がった。

※教師が授業改善の意識が高まっているのに反して、生徒が授業への意欲や充実感が上昇していない。次年度に向け、生徒主体の魅力的な授業づくりについて、全校を上げて取り組んでいきます。

※全体的に生徒の自己肯定感が低い傾向にあり、特に2年生においてその傾向が強いです。新年度は学校のリーダーとして活動していく機会が増えますので、委員会活動や行事等を通して、達成感や自己有用感を味わわせ、自信を持たせたいと考えています。

③ 保護者の結果から

○上期、下期で大きく数値が変動した項目はなかった。学校からの情報発信、安全指導等について高い評価をいただいた。

▲授業が楽しい、よく分かるという項目が下期にかけて、さらに低くなっている。

▲家庭での読書の習慣、家庭学習の習慣、携帯電話等の使用について、評価が低い。

※子供たちが、楽しく、分かりやすいと感じる授業づくりについて、次年度も校内研修で計画的に取り組んでいきます。

※読書、家庭学習の習慣化、情報モラル等について、家庭と連携した取組を充実させていきたいと思えます。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いします。

※学校の課題についてのご意見をいただき、大変ありがとうございました。全職員で真摯に受け止め、課題解決に向けて一丸となって取り組んで参ります。

④ 学校関係者の結果から

○概ね、高い評価をいただいた。

▲学校の課題について、ご心配をいただいていることに有り難いのとともに、迅速な解決ができない状況に申し訳ない。

※子供たちの日々の頑張りや、地域学校協働活動の成果を評価していただき有り難いです。意見にもあるように、東陽中の子供たちの可能性、潜在能力はまだたくさんあると感じています。これからも、学校、家庭、地域が一体となり、子供たちの力を伸ばしていきたいと思えます。今後とも、貴重なご示唆、ご支援をお願いします。